

■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立勤労者総合福祉センター(サン・エールさがみはら)
指定管理者名	相模原市勤労者福祉サービスセンター
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立勤労者総合福祉センター条例
施設の設置目的	勤労者の教養文化、研修、スポーツ等の活動の促進を図り、もって勤労者の福祉の向上に寄与するため
施設概要	<p>所在地 相模原市緑区西橋本5丁目4番20号 開館年度 平成11年度 規模 建物部分 建設面積 1,418.72㎡ 延床面積 4,233.57㎡ 敷地面積 2,515.30㎡ 建物以外 敷地面積 270.00㎡</p> <p>構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建(一部地下) 主な施設 建物部分 1階 事務室、多目的室、レストラン 2階 ホール、第1研修室、第2研修室、託児室 3階 工芸室 教養文化室、第1会議室、第2会議室 4階 トレーニング室、音楽練習室、リハーサル室 建物以外 駐車場</p> <p>休所日 12月29日から1月3日まで 開所時間 午前9時から午後10時まで(業務開始時間は午前8時30分から)</p>
施設所管課	環境経済局 産業・雇用対策課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	219,126	82,414	137,854		
利用料金合計(円)	28,190,739	11,370,420	21,848,178		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 3.3
	B	D	D				

指標	
指標名(単位)	施設利用率(%)
指標式と指標の説明	施設利用回数/施設利用可能回数×100

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	66.1%	66.1%	66.1%		
実績値(%)	65.8%	47.2%	47.9%		
達成度(%)	99.5%	71.4%	72.5%	#DIV/0!	#DIV/0!

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 20
	S	S	S				

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
勤労者の福祉の向上を図るための事業の実施に関する業務	ホールを利用した事業の実施	様々な音楽・芸術に触れる機会を提供することで、勤労者の教養文化活動が促進された。
	文化的な創作活動等の講座・教室の実施	様々な創作活動に参加する機会を提供することで、勤労者の教養文化活動が促進された。
	自己啓発・スキルアップ関連の講座の開催	自己研鑽に繋がる学習機会を提供することで、勤労者の自己実現に寄与した。
利用の促進に係る業務	パンフレットの全面リニューアルの実施	利用者目線に立った更新を行ない、分かりやすいものとなった。
	あじさいメイツと連携した利用料金半額助成サービス等の実施	利用率、勤労者福祉の向上に寄与した。
	Wi-Fi環境の整備	利用者の要望を反映し、利便性・満足度の向上に寄与した。

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
自動販売機の設置	屋外を含め、合計6台の自動販売機を設置し、管理した。	施設利用者の利便性の向上及び、空きスペースの有効活用等を図った。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	S	A				17

利用者満足度調査

調査手法	利用者アンケート(年4回の実施予定のところ、R1年度4回、R2年度1回、R3年度3回)
目標値の基準	「大変良い」「良い」の回答割合(職員の対応及び施設の満足度について)

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80.0	80.0	95.0		
実績値（%）	84.0	97.3	97.0		
達成度（%）	105.0%	121.6%	102.1%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
利用者懇談会	令和元年度は対面、令和2年度は書面で実施し、利用者の意見を把握した。 令和3年度は対面の方向で調整したものの、一定数の参加者を確保できず、中止した。
利用者アンケート	施設利用者に対して、施設に対する要望及び意見を収集するためのアンケートを実施し、利用者満足度の向上を図った。
意見箱の設置	施設利用者に対して、施設に対する要望及び意見を収集するための意見箱を設置し、利用者満足度の向上を図った。
事業実施後のアンケート	参加者に対して、事業終了後にアンケートを取り、魅力的な事業の企画提案に繋げた。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
ギタースタンドがあると便利です。(音楽練習室)	2台購入し、配置した。
倉庫の床のカーペットが一部剥がれているので直してほしい。(音楽練習室)	修繕対応した。
工芸室と陶芸窯室の間のドアのストッパーがきかないので交換してほしい。(工芸室)	交換した。
夜間卓球開放は有り難いが、利用時間を2時間から3時間に延長してほしい。(多目的室卓球個人利用)	午後6時から午後8時までの利用としていたが、終了時刻を1時間延長し、午後9時までとした。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 17
	B	S	S				

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	93,855	93,851	95,036		
指定管理料	60,298	61,249	57,561		
利用料金収入	28,191	11,370	21,848		
企画提案事業収入	890	53	143		
負担金収入	1,756	1,153	1,291		
自販機収入	0	0	0		
雑収入	1	3	2		
コロナ関連協力金・補填金	0	17,401	13,098		
緊急雇用安定助成金	0	768	715		
管理運営事業基金 (積立金取崩収入)	2,600	0	0		
管理運営事業基金 (利益還元Wi-Fi)	120	325	325		
管理運営事業基金 (利益還元LED)	0	1,529	0		
その他の収入	0	0	53		
支出 (b)	95,917	90,282	88,408		
人件費	27,663	28,863	30,462		
施設管理経費	67,199	59,530	57,413		
事業関連経費	965	35	208		
その他の支出	91	1,854	325		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-2,062	3,569	6,628		
自主事業収入 (d)	1,049	420	707		
自主事業支出 (e)	162	154	182		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	887	266	525		
全体収支 【(c)+(f)】	-1,175	3,835	7,153		
備考	令和2年度 コロナ損失補填金 2,070千円 コロナ協力金14,900千円 コロナ対策事業補助金 430千円 令和3年度 コロナ協力金 12,400千円 コロナ対策事業補助金 697千円				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
サン・エールフェスタ	サン・エールさがみはらを拠点として活動を行っている団体の日頃の活動の発表の場として、また、市民の交流を推進する場として、「サン・エールフェスタ」を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2・3年度の実施計画は中止としたが、令和4年12月4日に実施した。
トイレの洋式化の推進	2階以上の階のトイレの洋式化を推進し、利用者の利便性の向上を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により当初見込んでいた収益を下回ったことから、令和3年度の実施は見送ったが、令和4年10月から11月にかけて、2階の女子トイレの洋式化改修工事を行った。
ユニバーサルデザインに配慮した案内表示への取り組み	高齢者、障がい者の方々を含むすべての施設利用者が安心して快適にご利用いただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮した案内表示の実現に向けた取り組みを検討。	令和5年度中に検討、実施予定。
看板の設置	外観を見て本施設と容易に判別できるように建物名の表示設置を検討。	令和5年度に、ガラス窓に貼付する形で実施予定。 (安全性の観点から、建物に別途看板を取り付けることはできないとのこと。(市公共建築課))
録画機能付き防犯カメラの導入	公共施設における防犯に対する意識の向上を図るため、現状の4台の防犯カメラを、録画機能の付いたものへの更新を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により収益が当初見込みを下回ったこと、また費用が当初想定を上回ったことから、他の事業を優先し未実施。
修繕費の補てん・備品の購入	修繕費及び備品の購入において、経費が不足する分については収益を充てて補う。	新型コロナウイルス感染症の影響により、収益が当初見込みを下回ったことから未実施。 なお、収益ではないが、人件費や光熱水費の余剰分を修繕費に充てた。
時間貸しや当日割引制度の導入	比較的利用率の低い時間帯における時間貸しや当日予約の割引により、利用者のニーズに合わせた貸出しを検討。	新型コロナウイルス感染症の影響により、管理運営の先行きが不透明であったため未実施。 なお、多目的室卓球個人利用日の設定に際しては、多目的室専用利用の予約開始から一定期間経過後に決定することにより、専用利用率の低い日時の稼働率向上に配慮している。

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
自動販売機の増設	申請時は、4階にのみ増設する旨提案していたが、それに加えて、3階と屋外にもそれぞれ1台ずつ増設した。また、契約事業者の見直しを全箇所行い、手数料割合のより高い事業者へ変更した。	利用者の利便性の向上と、増収の両立を図ることができた。
館内照明LED化推進	提案していた共用部分に加え、多目的室など、利用率が高く、かつ、蛍光管を多数使用している施設を優先的にLED化改修を実施した。 なお、コロナ禍の休館期間を利用して施工した。	経費の削減と温室効果ガス排出量の削減に繋がった。
施設細部の清掃	コロナ禍の休館期間を利用して、施設細部の清掃や、こびり付いた汚れの除去など、普段は対処しきれない箇所の清掃を実施した。	利用者の快適性の向上に寄与した。
地域活性化に資する取り組み	若者の就労支援を目的に、市内の「風のすみか農場」で生産した農産物を販売する「サン・エールマルシェ」を(特非)文化学習協同ネットワークとの共催で出店した。	施設利用者のみならず、地域の活性化に繋がった。
地域活性化に資する取り組み	(公社)相模原市シルバー人材センターによる「野菜販売」を会館正面玄関横スペースで実施した。	施設利用者のみならず、地域の活性化に繋がった。
あじさいメイツとの連携	従前から実施している「サン・エールさがみはら利用助成」に加え、「トレーニング室利用助成(指定公共施設割引券)」を導入した。	市内の勤労者の福祉の向上に寄与した。
パンフレットのリニューアル	表紙は、ブルーと黄色を基調とした爽やかなイメージに一新し、内側は各階平面図と写真を分かり易く配置するなど、利用者目線に立ったパンフレットに更新した。	利用者の利便性の向上に繋がった。
敷地内禁煙の実施	敷地内駐車場脇の喫煙場所を撤去し、敷地内全面禁煙とした。	市民及び施設利用者への健康影響等に配慮した。

10 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける中、市と連携を取り、利用者への施設休止に係る連絡・周知、利用料の還付対応等滞りなく行った。感染症防止対策については、相模原市コロナ対策事業補助金の交付を受け、空気清浄機や非接触型サーマルカメラ等の購入や衛生物品の充当を行い、安全・安心な施設管理を行った。また、施設利用においては、こまめな消毒清掃、「利用前チェックシート」記入の協力依頼、参加者名簿の作成依頼など、細やかな感染防止対策を講じた。コロナ禍における事業の実施においては、入室前の検温、手指の消毒、「ヘルスチェックシート」の導入など、感染防止対策を講じた上で開催した。新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、安全・安心な施設管理を行うと同時に、利用者サービスの向上と利用率アップに努めた。

令和4年度までに実施済み提案事項の事例を挙げると、「サン・エールフェスタ」は令和2・3年度に見送ったが、令和4年度に開催できた。利用者の発表の場と市民の交流の場の提供を図ることができた。落語公演、健康漫談、フリーマーケット、相模原名産組紐体験コーナーなど多岐に渡った内容で開催し、来場者に喜ばれた。自動販売機については、単に設置するのではなく、設置後もより良い配置や業者の見直しを行っている。SNSによる利用促進については、令和4年度に運用を開始した。

利益の還元としては、提案をしていた事業のうちWi-Fi環境整備を令和元年度に、共用部分のLED化を令和2年度に実施した。令和3年度はコロナ禍等の情勢を踏まえて利益還元事業の実施は見送ったが、翌令和4年度には、かねてから利用者から要望の多かった2階女子トイレの洋式化改修を実施した。施設照明のLED化については共用部分以外にも継続的に取り組んでおり、令和4年度には第1研修室及び音楽練習室の改修を完了し、更なる経費の削減と温室効果ガス排出量の削減に寄与している。

令和5年度以降は、ユニバーサルデザインに配慮した館内の案内表示への取り組みや看板設置などを予定しており、申請時の提案内容の確実な実現を図っている。

11 所管課意見

平成31年4月から現指定管理期間が開始されたが、初年度末である令和2年3月にはコロナ禍による休館や利用制限など、当初全く想定されていなかった対応が始まり、現場では多くの苦労や混乱があったものと推察されるが、そのような状況下でも、利用者アンケートの満足度は高く、自由意見等からも利用者寄り添った施設運営が行われていると評価できる。続く令和2、3年度は社会全体としてコロナ禍の影響は甚大であり、施設運営にあたっては市の様々な要請に協力いただいた。その後、感染状況の落ち着きと共に徐々に事業を再開し、最近では利用者数もかなり回復してきた。

提案事業については、施設内緑化、季節ディスプレイの設置、施設予約システムの運用等、様々な手段と視点で利用者の快適性、利便性の向上に確実に取り組まれていると認識している。サン・エールフェスタなどは、現指定管理期間以前から積み上げてきた、利用者・地域との信頼関係により実現できたものと思う。

一方、不測の事態が様々あったことは承知しているが、提案いただいていた事項については、現指定期管理間のうちに少しでも実施できないか、或いは別の方法で目的を達することができないか、検討されたい。

開設後23年が経過し、施設が老朽化してきており、市としては毎年のように不具合箇所の改修工事を実施しているが、そのような中であっても大きなトラブルなく、円滑に施設を運営いただいている。

指定管理期間最終年度を迎えるにあたり、引き続き市と連携、協力を図りながら、魅力的な施設運営、適切な維持管理に努められたい。

12 選考委員会意見

- ・ 全般的には、新型コロナウイルス感染症の影響のある中、勤労者福祉の向上のための事業や、センター施設の貸し出し業務などの感染対策を講じながらの実施について、指定管理者の努力が評価できる。
- ・ その他事業の実施及び利用の促進に係る業務についても積極的な取り組みとなっており、中間評価シートのとおり評価できる。
- ・ 達成度について、令和2、3年度がD評価なのは、コロナ禍のため、仕方ないことと思う。
- ・ 利用者意見に対して的確・迅速な対応があることは評価できる。
- ・ 利益還元もされているので、今後も続けてほしい。
- ・ 令和5年度以降、withコロナの方策の検討や、長期的な方策を考える必要がある。
- ・ 落語、快眠術、ゴム動力ヘリコプター、エンディングノート、断捨離教室など面白い企画をたくさん実施している。これからのオンラインで実施することや、リモートワークなどで発生している勤労者の精神的負担を軽減するイベントや講座を開拓していく必要がある。
- ・ 緊急雇用創出事業安定助成金、コロナ対策事業補助など、コロナ関連収入がほとんどなくなる。これに対応した行動が必要となる。
- ・ 提案事業のうち未実施なものについて、残された期間で努力されたい。

総合評価（自動判定）

A

(72/100)

